総合型選抜入試制度
入試セミナー

課題・面談について

学校法人西野学園　札幌リハビリテーション専門学校

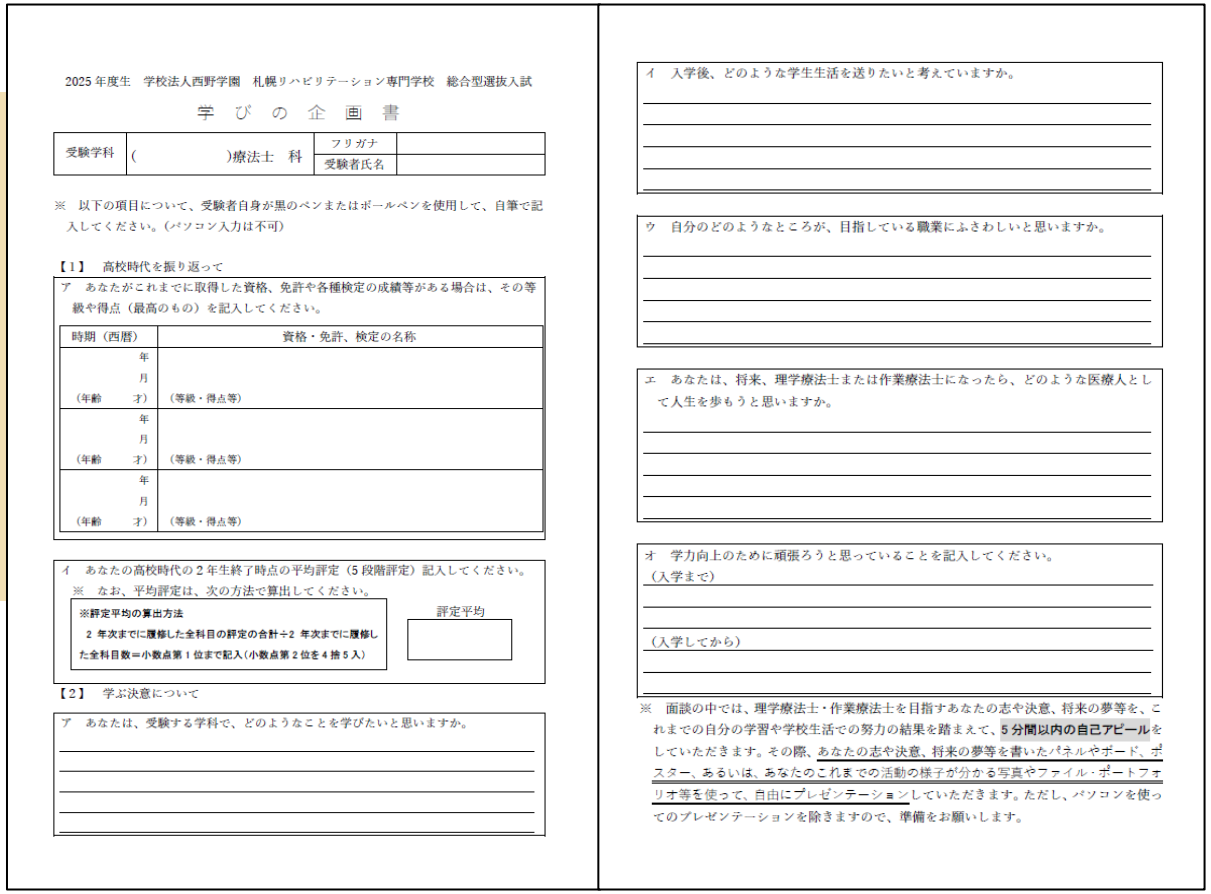
理学療法士科・作業療法士科

課題・面談説明

■ 課題

①「学びの企画書」を提出

②自己アピールを準備してくる。



2025 年度生　学校法人西野学園　札幌リハビリテーション専門学校　総合型選抜入試

学　び　の　企　画　書

受験学科	(　　)療法士　科	フリガナ	
		受験者氏名	

※　以下の項目について、受験者自身が黒のペンまたはボールペンを使用して、自筆で記入してください。(パソコン入力は不可)

【1】　高校時代を振り返って

ア　あなたがこれまでに取得した資格、免許や各種検定の成績等がある場合は、その等級や得点（最高のもの）を記入してください。

時期（西暦）	資格・免許、検定の名称
年 月 （年齢　　才）	（等級・得点等）
年 月 （年齢　　才）	（等級・得点等）
年 月 （年齢　　才）	（等級・得点等）

イ　あなたの高校時代の 2 年生終了時点の平均評定（5 段階評定）記入してください。
※　なお、平均評定は、次の方法で算出してください。

※評定平均の算出方法
2 年次までに履修した全科目の評定の合計÷2 年次までに履修した全科目数＝小数点第 1 位まで記入(小数点第 2 位を 4 捨 5 入)

評定平均

【2】　学ぶ決意について

ア　あなたは、受験する学科で、どのようなことを学びたいと思いますか。

イ　入学後、どのような学生生活を送りたいと考えていますか。

ウ　自分のどのようなところが、目指している職業にふさわしいと思いますか。

エ　あなたは、将来、理学療法士または作業療法士になったら、どのような医療人として人生を歩もうと思いますか。

オ　学力向上のために頑張ろうと思っていることを記入してください。
（入学まで）

（入学してから）

※　面談の中では、理学療法士・作業療法士を目指すあなたの志や決意、将来の夢等を、これまでの自分の学習や学校生活での努力の結果を踏まえて、**5 分間以内の自己アピール**をしていただきます。その際、あなたの志や決意、将来の夢等を書いたパネルやボード、ポスター、あるいは、あなたのこれまでの活動の様子が分かる写真やファイル・ポートフォリオ等を使って、自由にプレゼンテーションしていただきます。ただし、パソコンを使ってのプレゼンテーションを除きますので、準備をお願いします。

■ 面談内容　15分程度

①自己アピール（**5分以内**）

②個人面談

「学びの企画書」の内容について

【１】高校時代を振り返って

ｱ　あなたがこれまでに取得した資格、免許や各種検定の成績等がある場合は、その等級や得点（最高のもの）を記入してください。

ｲ　あなたの高校時代の 2年生終了時点の平均評定（5段階評定） を記入してください。

【２】学ぶ決意について ※資料最後の「学校・学科方針」や「学科ポリシー」などを参考に!!

ｱ　あなたは、受験する学科で、どのようなことを学びたいと思いますか。

ｲ　入学後、どのような学生生活を送りたいと思いますか。

ｳ　自分のどのようなところが、目指している職業にふさわしいと思いますか。

ｴ　あなたは、将来、理学療法士または作業療法士になったら、どのような医療人として人生を歩もうと思いますか。

ｵ　学力向上のために頑張ろうと思っていることを記入してください。

＊黒のペンまたはボールペンを使用して自筆で記入します
間違った場合には、二重線で訂正してください。

「面談」について

- 面談は**個別**での面談となります。全部で**15分程度**の面談時間。
- 面談の中では、希望職種を目指すあなたの志や決意、将来の夢を、これまでの自分の学習や学校生活での努力の結果を踏まえて、**5分間以内の自己アピール**をしていただきます。
- その際、あなたの志や決意、将来の夢等を書いた**パネルやボード**、**ポスター**、あるいは、あなたのこれまでの活動の様子が分かる**写真**や**ファイル・ポートフォリオ**等を使って、自由にプレゼンテーションしていただきます。準備した物の提出は不要です。

  （※パソコンを使用してのプレゼンテーションを除きます）

5分間以内の自己アピール

ブック形式

模型・作品の活用

パネル型

自由にプレゼンテーション

学生時代に育てた「自分の世界」を自由にアピール

パフォーマンス

課題・面談の参考資料

西野学園　建学の精神と教育理念

質の高い専門教育を提供しつつ、社会が要請する高度な即戦力としての職業人育成に向け、建学の精神「共立」を追求し、教育理念として

学校法人
西野学園

「探究する心」
「創造する心」
「貢献する心」

の３つの「心」を兼ね備えた人材養成を目標としています。

西野学園　教育目標と教育方針

＜教育目標＞

1　自ら学び、専門分野の課題解決に向け積極的に探究できる人材の育成

2　豊かな人間性と広い視野をもち、創造性に富む活力ある人材の育成

3　時代の変化に対応し、積極的に社会に貢献できる人材の育成

＜教育方針＞

1　教育システムとカリキュラム等の工夫・改善、「わかる授業」の追求と実践を通じて教育の質を高める。

2　医療・福祉専門職として必要な知識・技術・実践力に加え、主体的・積極的に取り組む態度や豊かな人間性を育む教育を協働して推進する。

3　学習環境の一層の整備をはかり、学園生活の充実に努めるとともに、有用資格の取得と進路実現のための取り組みを組織的に行う。

札幌リハビリテーション専門学校の学校・学科方針

１　学校方針

本校は、学生と教職員が人と人のつながりの中で、互いの価値観を認め合い、共に育ち共に生きる「共生」を実践し、探求・創造・貢献の心を併せ持つ、医療・福祉・保健の各分野で活躍する人材を育成する。

２　学科方針

作業療法士科では、よりよい人間関係に支えられた意欲的な学習集団づくりと個の育成にも力を注ぐ教育を推進し、多様な価値観を認め合い、共に生きるための力を育み、学生一人ひとりが「探求・創造・貢献」の3つの心を兼ね備えた地域に貢献できる人材を育成する。

学科ポリシーとは

建学の精神
教育理念
教育目標

入学者に求める人物像を
明確にしたもの

アドミッション・ポリシー

～入学者受け入れ方針～

カリキュラム・ポリシー

～教育課程編成・教育実施方針～

ディプロマ・ポリシー

～卒業認定・学位授与方針～

入学

履修

卒業

学校法人西野学園　札幌リハビリテーション専門学校

理学療法士科　学科ポリシー

＜アドミッションポリシー＞（入学者受け入れ方針）

札幌リハビリテーション専門学校 理学療法士科は、人を大切にする優しい心をもち明るく元気を与えられる理学療法士に興味のある人、高校時代の学びを十分に活かしながら、「探究・創造・貢献」の教学理念の実践に向けて努力する人を求めます。

1．自らの行動に責任を持ち、物事に計画的に取り組める人
2．修学する専門領域に対し探求心と向上心を持ち学習することができる人
3．医療に携わる者として自らの心を律し、人間の尊厳を重んじることができる人
4．専門分野の発展に貢献する目的意識を持ち、新しい課題に挑戦することができる人
5．コミュニケーション能力を向上させ積極的に他者と関わり、理解しようと努力できる人

＜カリキュラムポリシー＞（教育課程編成･実施の方針）

「探求する心」「創造する心」「貢献する心」の３つの心を兼ね備えた人材育成を行うために、理学療法士科では以下の方針のもと編成した教育課程に基づく教育を実践します。

1．1年次においては、各種演習でアクティブラーニングを多く取り入れ、**専門職への意識付け**を行うと同時に、**主体的に学ぶ意欲を高め**専門教育へのスムーズな移行を行います。

2．特に2,3年次において、講義に加え演習・実習を多く取り入れ、**知識（「わかる」）**と**技術（「できる」）**を融合させ、修学に必要な専門能力を高めます。

3．特に3,4年次において、充実した臨床実習を行うため、実習前後で**実践に即した技術習得**と**臨床での思考過程**の学習を行い、**実践力と創造力を向上**させます。

4．どの年次においても、各種演習や他学年との交流をとおして、**他者を思う精神**や**広い視野**と**豊かな人間性**の基礎力を身に付けさせます。

5．どの年次においても、ソーシャルスキル、各種基礎演習等をとおして**コミュニケーション能力を高め**、社会の一員として**他者と関り協調できる能力**を向上させます。

＜ディプロマポリシー＞ （卒業認定・学位授与の方針）

札幌リハビリテーション専門学校　理学療法士科では、教育課程に従い所定の過程を修め、かつ、下記の要件を満たしたものに卒業を認め、**高度専門士**の称号を与えます。

1．常に自己啓発に努め、自ら**主体的な態度で積極的に行動**できる人材
2．専門分野について積極的に探求し、**社会の発展に貢献**できる人材
3．生命に対する畏敬の念を持ち、**医療人として広い視野**と**豊かな人間性**を有する人材
4．新しい課題に挑戦する**豊かな発想と創造力**に富み、活力ある人材
5．地域や臨床に直結し、チームの一員として行動する**実践力**を持った人材

学校法人西野学園　札幌リハビリテーション専門学校

作業療法士科　学科ポリシー

＜アドミッションポリシー＞（入学者受け入れ方針）

札幌リハビリテーション専門学校 作業療法士科は、作業療法士に興味や関心をもち、将来なりたいと強く思う人を求めており、高校時代の学びを十分に活かしながら、「探究・創造・貢献」の教学理念の実践に向けて努力する人を求めます。

１．コミュニケーションを大切にする人
２．主体的に学ぶ姿勢・意欲を持って取り組もうとする人
３．物事を様々な視点からとらえ、柔軟に考えようとする人
４．多様な価値観を理解し、他者と協力しようとする人
５．人の健康や幸福、日常生活を豊かにすることに興味を持ち、地域に貢献しようとする人

＜カリキュラムポリシー＞（教育課程編成・実施の方針）

カリキュラムは基礎科目、専門基礎科目、専門科目と横断的・縦断的な編成となっており、高度な実践力を持つ専門家を育成するため卒業まで系統的な指導を実施します。「探究・創造・貢献」を教学理念に掲げ、学生一人ひとりに合った学習機会や場面を柔軟に提供し、**アクティブラーナー（主体的な学び手）**となるための能力を育成し、**他職種や周囲の人々との連携力**、**調整力**の強化を図れるよう、以下の方針のもとに札幌リハビリテーション専門学校　作業療法士科の特色を生かした教育課程にもとづく教育を実践します。

1. 本校では、講義・演習・実習を中心に、アクティブラーニングを重視した授業を行っています。また、**教員が学生と関わる時間を多くし、個別性を大切にして、学生の”わかる”や”できる”につながる支援**をします。
2. 1年次では、基礎科目と医学の基礎などの専門基礎科目により、**作業療法士を目指すための土台を育成**します。また、作業療法を具体的に知るための臨床見学実習を行い、その中で、ソーシャルスキルの向上を図ります。
3. 2年次では、成人としての自覚を持ち、作業療法の興味や自分の適性に気づくことと、作業療法という視点から人をみる力（評価力）を育成します。

＜カリキュラムポリシー＞（教育課程編成・実施の方針）

4. 3年次では、**早期から国家試験の準備を進める**とともに、**質の高い臨床実習**を通じて作業療法士としての将来像を築いていきます。また、職業人としてのマネジメント力や仲間との協力により課題を成し遂げる力を育成します。

5. 4年次では、作業療法実践のための理論や技法を活用し、エビデンスを意識した支援ができるように、自分の作業療法士としてのビジョンを持ち、**生涯に渡り作業療法を追求する姿勢・探究する姿勢**を育成します。

6. 教育評価において、学年毎の到達目標を明確にし、評価基準を明示します。多様できめ細かな評価の実践のため、定期試験のみならず、学習ポートフォリオ、ルーブリック評価、OSCEを導入しています。また、演習・実習やグループワークでは課題への取り組み方や、発表内容も評価の対象にするなどして、**高度専門士としての質を高めて**いきます。

＜ディプロマポリシー＞ （卒業認定・学位授与の方針）

札幌リハビリテーション専門学校　作業療法士科では、教育課程に従い所定の過程を修め、かつ、下記の要件を満たしたものに卒業を認め、**高度専門士**の称号を与えます。

1. 作業療法の専門知識や幅広い教養と倫理観を身につけ、広い視野ならびに豊かな人間性を身につけている人
2. 常に自己啓発に努め、自ら主体的な態度で積極的に専門分野を**探究**する人
3. 新しい課題に挑戦する豊かな発想と**創造**力に富み、活力ある人
4. 医療・保健・福祉分野の専門職として最新の必要知識を身につけ、地域社会に**貢献**する人
5. チームの一員として作業療法士の役割と責任が理解でき、自ら進んで作業療法の役割を果たす行動力を身につけた人